

かもう公民館 図書室だより

平成26年度 10月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

10月 (神無月 かなづき)

10月は日本中の神々が出雲に出張し、地元からいなくなってしまうことから、神のいない月＝「神無月」と呼ばれています。秋の収穫がピークを迎えるこの時期、実りの秋を存分に味わいましょう！

(参考資料:「なごみ歳時記」)



第 68 回 読書週間のお知らせ

10月27日から11月9日は読書週間。涼しくて過ごしやすいこの季節に、読書を楽しんでみませんか？蒲生公民館図書室では、特設コーナーにて秋の読書におすすめの本の展示を予定しております。



そして期間中の11月3日(月)には、始良市立中央図書館にて、毎年恒例の図書館フェスティバルが開催されます！おはなし会などの楽しい催しの他、本や雑誌の無料配布などもありますので、どうぞお越しください。(※蒲生図書室は休室です。)

今年の標語は『めくる めぐる 本の世界』。
ページをめくって、本の世界をめぐりましょう♪



●10月カレンダー

						休室日
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開室日：火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間：9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数：図書5冊・雑誌2冊
貸出期間：15日間

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ
<http://lib-airajp/>

「満願」

米澤穂信 著



人を殺め、静かに刑期を終えた妻の本当の動機とは…。警官やビジネスマンなどが遭遇する6つの奇妙な事件を描いたミステリ短編集。山本周五郎賞受賞。

死を心配する必要はない、見えないことに意味がある。救急医療の第一線で命と向き合ってきた筆者が辿りついた、「人はなぜ生きるのか」の答えを綴る一冊。



「おかげさまで生きる」
矢作直樹 著

「暮らしのつくり方」

本多さおり 著



家事は「後始末」ではなく、未来への「準備」。整理収納コンサルタント・本多さおりが、モノ・コト・頭の中の整理術「暮らしのつくり方」について紹介する。

一般書

「スリム美人の生活習慣を真似したら1年間で30キロ痩せました」 わたなべぼん
「里山を食いものにしよう」 和田芳治
「だから日本はズレている」 古市憲寿
「長女たち」 篠田節子
「星守る犬/続・星守る犬」 村上たかし

児童書

「こころのふしぎ なぜ？ どうして？」 大野正人
「わくわく数の世界の大冒険」 桜井進
「赤毛のアン」 L・M・モンゴメリ作/村岡花子訳

今月の特設展示コーナー

【特集 この秋ドラマ化・映画化される本】

今回は、この秋に始まるドラマ・公開される映画の原作本を特集します。映像と活字、違った魅力のある両方の世界を、ぜひお楽しみください。

『昨夜のカレー、明日のパン』

本屋大賞2位に輝いた作品を、原作者の脚本でドラマ化。
出演：仲里依紗 鹿賀丈史

<ドラマ>



10/5(日)
22時スタート

<映画>



10/4(土)
全国公開

『蜩ノ記』

直木賞受賞のベストセラー時代小説が、待望の映画化。
出演：役所広司 岡田准一 堀北真希

ぐるぐる蒲生めぐり

田の神 (たのかみ)

十月の別名は神無月。多くの神々が出雲に赴く中、地元に残る神さまがいることをご存知ですか？

田の神さまもその一つ。鹿児島と宮崎の一部(かつての島津領地)には、豊作や子孫繁栄を願って作られた田の神像があちこちに現存しています。蒲生にも数多くの像があり、中でも下久徳と漆にある田の神像は県文化財に指定されています。

「たのかんさあ」と呼ばれ、昔から親しまれてきた田の神さま。300年の時を経た今も、田畑の畦道で人々の暮らしを見守っています。

参考資料
「蒲生町 行事と行事食」
「蒲生郷土誌」

